


















【連絡処理報告】

市長	副市長	政策監	部長	次長	課長	課長	主幹	課長補佐	係長
									
日時	平成31年4月26日(金) 10:00~11:20				まち美化推進課		管理課	課内合議	
日時	豚コレラ感染拡大防止に係る柵による農場囲い込み措置について(協力依頼)  (場所：木津川市 3-4会議室)				  		 	  報告：芝原	

奈良県畜産課：溝杭 課長、億 主幹

木津川市：市民部 山本次長、まち美化推進課 高味 課長

：建設部管理課 松本 課長

：マチオモイ部 武田 部長、農政課 芝原 課長

〔概要〕近隣府県で豚コレラの感染が拡大している中で、奈良県も豚コレラの感染拡大防止として、県内養豚7事業者の農場は柵で囲い込む対策をとっていることから、奈良市の村田養豚場についても柵で囲い込みたい。

これにより、農場内を通過している市道を封鎖することになり木津川市に対して協力を要請したいとの事であり、本市は前向きに協力する意向であるが地元説明無しに封鎖はできないため県も地元説明に応じてほしい。

奈良県：(県)、木津川市：(市)

〔協議内容〕

県) 農場を柵で囲い込むことから市道を封鎖することになり、扉を市道の両端に設けたいが市の見解は。

県は柵の資材を使用貸借で行う。本来、農場がやるべきであるが、資金、スピードが必要であり県の緊急対策費で行う。

市) 家畜伝染病の予防として協力する。

扉は占用物件となることから、原因者として地元に対して説明をしてほしい。

豚コレラの感染予防は理解するが、市民・議会も注視している。

県) 法律上は小さく囲むことになっているが、国は大きく囲むことになっている。

終息するまでの対応である。

水質の事もあり整理をしたい。

市) 水稲前の5月13日に地元に対して赤田川水質の状況報告をする。

その時に水質以外に、豚コレラの質問も考えられる。

柵は早急にしたいとの事であり、連休中であっても地元説明の依頼があれば応じる。

県) 一存で判断出来ないため上司と相談する。

[水質改善に対する協議]

県) 道路どうこうより、地元は赤田川水質の問題であり、解決に向かいたい。

県) 先般、市が施工した水路であるが、既存は開渠であるが管渠になっている。山側からの雨水処理はどうなるのか。暗渠の上に土砂が堆積しているが、何処が除去するのか。

施工した管渠の一部が浮いており、管の周辺が空洞化することで周囲の沈下が考えられる。

市) 管渠にした理由は、元々素掘水路であり山側が崩れた場合を考慮して、村田と協議し合意の上で施工したものである。

山側からの雨水は、管の上を流れている。

管の上の土砂は市で除去する。

管渠が浮いているのは、川底は石だらけであり石の影響で浮いているのではないか。一度市で確認する。

県) 県は水質改善に向け進めたいと思っている。